

裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員會議事速記録第五號

(七二)

大正十年三月二日(水曜日)午前十時四十五分開會
○委員長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ前回ニ引續イテ
委員會ノ質問ヲ繼續イタシマス、ドウゾ御質問ヲ願
ヒタウゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 チヨット私カラ質問イタシマス、
モウ是ハ此前質問ガ出タノデゴザイマスケレドモ、
マダ私ノ了解ニ苦シム所ガゴザイマスガ、ソレハ矢
張り司法大臣ガ發議ニ依ッテ六十五歳ナリ、六十三歳
ナリノ定年ヲ延バスコトガ出來ルト云フコトハ此間
司法次官カラ御説明デゴザイマシタガ、其御説明
ニ依レバ苟クモ司法大臣タルモノガサウ濫リニ依怙
最負トカ、或ハ私怨ヲ晴スガ爲メニサウ云フコトハ
爲サスト云フコトハ是ハ信賴スルニ足ルカモ知レマ
セヌガ、サウ云フ風ニ司法大臣ガ決シテ依怙最負ヲ
シナイ、私怨ヲ晴スト云フ事ヲシナイト云フコトヲ
前提トシテ置ケバ難シク法律ヲ定メテ置ク必要ハ
ナイノデアリマス、サウ云フ事ハアリマスマイケレ
ドモ、多少矢張り既ニ今日ノ制度デ司法官ヲ能力ノ
足リナイト云フノ總會ノ決議デ除外スル事ガ出來
ナイト同ジ理由デ、矢張り司法大臣モ常ニ親シクシ
テ居ル者ニ付テハ情實ト云フ譯デモナカラウガ、二
年延シ、三年延シテヤリタイモノダトカ、五年マデニ
ナラナクとも、サウ云フ情實ガ出來ヤシナイカ、又六
十五トカ、六十三トカ云フノ極ク高イ司法官ニ
ナリマスルトソレヲ三年延バス、五年延バスト云フ
コトハ非常ニ若イ人ノ三年五年トハ違ッテ、非常ニ長
イ恩惠ニナル、ソレカラ又後進ノ途ヲ塞グト云フヤ
ウナコトニナル、下ハ澤山ノ人ガ 同僚ガ澤山ア
ルガ、下ノ三年五年ハ短カイカモ知レマセスケレド
モ、モウ上ニナッテ一人シカ居ナイト云フ人ヲ三年延
バス、五年延バスト云フコトニナルト御趣意ノ存ス
ル、即チ後進ニ途ヲ開クト云フ御趣意ニ背クト云フ
ヤウナコトニナリハシナイカ、ソレデ私共ハ矢張り
是ハ明ニ民法ニ於テ定年ヲ極メタモノトカ、或ハ其
外選舉法トカ、何トカ云フモノニ定年ガ定ッテ居ルヤ

ウニ、事實上ハ無論ソレニ反シテ七十五ナッテモ嬰
タル人モゴザイマセウケレドモ、是ハ法律ノ假定デ
アル事トシテ、司法大臣ガ延バスコトヲシナイ方ガ、
寧ろ絕對ニシナイト云フ風ニ規定シタ方ガドウモ論
理ニ合ヒ、此法律ノ改正ノ御趣意ニモナリハセヌ
カ、斯ウ云フコトガ第一點デゴザイマス、ソレカラ第
二ニハ、檢事總長ヲ親任官ニスル、是ハ從來矢張り行
政裁判所長、會計検査院長デアルトカガ同ジデアッタ
ノガ、一方ハ親任官ニナリ、一方ガ親補官デアルト云
フコトハ權衡上面白クナイト云フヤウナ御趣意ノヤ
ウニ伺ヒマシタケレドモ、一體檢事總長ハ司法大臣
ニ隸屬シテ直接ニ 天皇ニ直屬シテ居ル役柄デナ
イ、會計検査院長、行政裁判所長デアルト云フヤウナ
モノハ、其職責ハ一方ハ 天皇ノ直屬デアリ、一方ハ
直屬デナイト云フノガ一ツ、ソレデ親任官ト親補官
ト區別ガアッテ、當然デナイカト私ハ考ヘル、若シサ
ウデナク矢張り檢事總長ヲ親任官ニスベシト云フコ
トニナルガ、軍人ヤ何カデ 天皇ノ直屬デナイ親補
官ナルモノガ澤山アル、軍港司令官ナドト云フモノ
ガ澤山アル、ソレモ親任官ニスベシト云フヤウナ先
驅ケヲスルモノデハナイカ、サウスルト親任官ガ非
常ニ多クナルヤウナコトニナリハセヌカ、此法律關
係ハナイト云ハレマスケレドモ、前チヨット申上ゲマ
シタ理由モアリマスカラ、是ハ矢張り今日ノ親補官
ヲ置カルルト云フコトハ固ヨリ當然デナイカシラ、
此二ツノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 七十四條ノ二ノ但書ヲ
削除スル事ヲ以テ適當デハナイカト云フ第一ノ御質
問デゴザイマスガ、是ハ屢々申上ゲマス通り法律デ
一定ノ年限ヲ切ッテ仕舞フト云フコトニ致シマスレ
バ、所謂立派ニ働クコトノ出來ル者ヲ退カシムルト
云フ結果ニナッテ、所謂精神ニ背クトコトニナリマス
カラシテ、斯様ノ規定ヲ置イテ以テ原則ニ對スル例
外ノ規定ヲシタ次第デアリマス、勿論司法大臣ガ依怙
偏頗ノ處置ヲスルトカ、或ハ憎惡ノ念ニ依テドウス

ルトカ云フヤウナコトノ弊害ハ勿論アル筈ハナクシ
テ、假リニ司法大臣一個ニ對シテ左様ナコトガアリ
トシテモ、總會ノ決議ニ依リマシテスルノデアリマ
スカラ、サウ云フコトハナカラウト確信ヲシテ居ル
ノデアリマス、又司法大臣ガ發言權ヲ持タズシテ、裁
判所ガ自カラ司法大臣ノ申立テナクシテ此コトヲ適
用スルト云フコトニナレバドウカト云フコトモ議論
ガアルヤウニ承ツタノデアリマスガ、サウスルトドウ
シテモ同僚互ノ情誼ニ係ルト云フコトモナイコトハ
ナイ、ソレニ現行七十四條モアルノデアリマスカラ
ソレト步調モ一ツニナリマス、司法大臣ノ發議ニ依
テ總會ニ依ラシメル、勿論是ハ例外デゴザイマスガ、
其適用ニ於テハ慎重ベキデゴザイマス、ソレカラ檢
事總長ト大審院長ト肩ヲ並べルト云フコトハドウデ
アルカト云フ仰セデアリマシタガ、成程檢事總長ト
云フモノハ司法行政官トモ云フノデアリマシテ、判
事ノ如ク獨立ト云フノデアリマセヌ、勿論司法大
臣ノ命ヲ受ケテ仕事ヲスルコトデアリマスケレドモ
ガ、是ハ他ノ官制ニ於キマシテモ大臣ノ下ニ隸屬シ
テ居ル一官吏ニシテ矢張り親任官トナッテ居ルモノ
モアル、例ヘバ國勢院ト云フヤウナモノガ是ハ内閣
ニ屬シテ居リマシテ、其總裁ハ親任官デアアル、或ハ關
東長官デアアルトカ云フヤウナモノモ、其上ノ監督者
ガアッテモ親任官ト云フ事ニナッテ居リマス、ドウモ
檢事ト、判事ト區別シテ檢事ヲ一段下ゲテ置クト云
フ事柄ハ、裁判所職員トシテ權衡上内部關係カラ申
シマシテモ當ヲ得ナイト云フ事デ、外部關係ニ於キ
マシテモ從來ノ經過ヲ申シマスルト現行親任官トナ
ッテ居ル所ノ會計検査院長、行政裁判所長官ト云フモ
ノハ既ニ早クモ親任ニナッテ居ル、斯様ナ事ニ致シテ
居ルノデゴザイマス、此點ニ付キマシテハ樞密院ニ
於キマシテモ色々質問應答ヲ致シマシタ結果、樞密
院ノ決議イタシマシタ理由モ又左様ナ意味デ檢事總
長ノ位置職責ニ照ラシ、親任ニスル、他ノ省官トノ權
衡ニ鑑ミテ之ガ親任タラシムルト云フコトハ適當デ

アルト云フ意見デ以テ樞密院ハ通過イタシタ譯デア
リマス
○加太邦憲君 唯今板倉サンガ御質問ナサツタ第一
ノ方ニ付イテチヨット伺ヒマスガ、此三年、五年ト云
フコトヲ延長シタモノハ段々ノ御説明ノ模様ニ依リ
マス、マダ立派ニ勤メテ居ルコトガ出來ル人デア
リマス、カヲト云フヤウナ御説明ニ止ツテ居ルヤウデ
アリマスガ、私ハチヨット斯ウ云フコトヲ考ヘルノデ
アリマス、先ヅ其精神身體ガ衰弱シナイカラト云
フ問題ハ適當トシマシテ、或ハ其事務ノ上カラ幾分
カ延サレナイト云フヤウナコトハアリハシマイカ、
其事務ノ上カラ專任ニ係ツテ居ル人ガ引ク爲ニ、事務
上ニ差支ガ起ルト云フヤウナ方カラ必要ト見テ割出
シタトスルト、チヨット年數ガ長過ギルト云フコトモ
ナイデハナイカ、チヨット實例ヲ申シマス東京ノ鐵
管事件ノ調べガ三年程モ掛ツテ證據書類ガ長持ニ何
デモ五杯バカリアツタヤウデアリマスガ、ソレデ專任
ノ部長ガ出來マシテ一年半程モ外ノ事務ヲ執ラズニ
一室ニ構ヘテ其事務ノミニ係ツテ居リマシタ、所ガ其
檢事モ尾崎檢事ト云フ人デアリマシタガ長ク掛ツテ
三年ニ亙ツタ事件ガ能ク吞込メテ居ツテ、サウシテ公
判ニ取掛ルト云フ場合ニ其尾崎檢事ハ他ニ迭ハラヌ
ナラヌト云フノデ、是ハ引止メテ置ケバ事務ノ上ノ
差支ハアリマセヌガ、ドウ云フ其時ノ事情ガアツタカ
尾崎檢事ヲ早く轉任所ニ移サナケレバナラヌト云フ
所カラ、相當ノ後任者ヲ拵ヘテ尾崎檢事ニ轉任ヲ命
ゼラレタ、ソコデ誰カ代ツテ三年モ掛ツテ調ベタ事件
ノ檢事ノ地位ニ立ツト云フコトニナリマス、カラ仲小
路君ガ其次席ニ居リマシタノデ、ソレデ仲小路君ニ
相談ニナツタ、サウシマシタラ是ハナカ、容易ナコ
トデナイカラシテ、私ガ御引受スルトモセヌトモ申
サレナイガ、一週間ドウゾ私ニ御猶豫下サイ、其間ニ
重要ノ書類ダケヲ調ベテ引受ケルカ引受ケスカノ御
答ヲスルト云フテ、サウシテ仲小路君ガ一週間ノ調ベ
ヲシテ先ヅ出來サウニアルカラ引受ケルト云フコト
ニナツタ、ソレデ忽チ公判ガ開ケ其裁判ガ濟ミマシタ
ガ、丁度サウ云フ時デス、裁判官ノ方ニシテ見マス
ト云フト會議制ノコトデアリマス、宜シイガ、ドウ

モ檢事ガ一人事件ノ中途デ交ルト云フコトニナリマ
スト、込入ツタ長イ事件ニ付テハ大變ナ其處ニ困難ヲ
生ズル、此場合ニ三年掛ツタ調ベヲ又三年調ベ直サナ
ケレバナラヌ斯ウ云フコトニナル、又今ノ例ノ場合
デ仲小路君ガ引受ケタカラ宜シカッタガ、若シ是ガ引
受ケナイデ外ノ檢事ガ掛ツテ普通調ベルトシマシタ
ラ、是又其何年トカ何箇月掛ル斯ウ云フコトニナル、
ソレデ私ハ此年齡ヲ延バスト云フコトハ此法律ニ揭
ゲテアルコトハ別トシテ、事務ノ上カラ或ハ必要デ
アリハセンカ、斯ウ云フ感シガスルノデアリマス、其
事務ノ上カラト云フ方ニスルト是デハ延バス年限ガ
長過ギハセンカト云フ問題ガ茲ニ起ツテ來ヤスマイ
カト思フノデスガ、別段司法省ノ御考デハ是ハ事務
ノ方デハナイ、其人ガ身體モ精神モ衰弱シテ居ラヌ
デ、マダ三年五年、殊ニ衰弱シテ居ラヌ所デナイ、此
法律ノ適用ハ最モ嚴肅ニナサルコトト思ヒマス、カ
ラ、最モ拔ン出タ人デ誰ノ目カラ見テモ特別ノ技倆
ノアル人ヲ斯ウ云フコトニ御當テニナルコトデアリ
マシテ、其事務ノ上カラト云フ譯デハナイノデスカ
○政府委員(鈴木喜三郎君) 實際ノ運用カラシテ考
ヘマスレバ御尤モノ御論デゴザイマシテ、成程大事
件ニ差シ掛リマシテ、モウ一月ナリ二月ナリデ終結
スルヤウナ事件ヲ擔當シテ居ル者ガ、偶々年齡ノ到
達ノ爲ニ直グ又人ヲ入替ヘルト云フヤウナコトガア
リマス、ト云フコト、再ビ其事件ヲ半歲ナリ一年ヲ延
バスト云フヤウナ事モアリ得ルノデゴザイマス、サ
ウ云フ場合ニ於キマシテハ矢張り此條文ノ適用ヲ以
テ補フ事ハ出來ルノデアリマス、デソレモ實際ノ運
用トシテハ唯今加太サンノ仰ツシヤルヤウナ理由モ
アルノデアリマス、正面ノ理由ト致シマシテハ六十
三、六十五デ以テカラニ身體精神ノ衰弱シタルモ
ノト一應法律ガ衰弱スル定年ヲ設ケル、但シ例外ノ
人モアルニ依テ此但書ニ依テ其精神身體ニ未ダ缺陷
ヲ來サヌト云フ風ナ顯著ナル人ニ向ツテ年限ヲ延長
シヤウ、斯ウ云フマア精神デアアルノデアリマス、實際
ノ運用ト致シマシテハ唯今加太サンノ仰セノヤウナ
場合ヲモ此條文ニ依テ働クコトカ出來マシテ、非常
ニ便利ヲ得ルコトニナルノデアリマス、御承知ノ通

リ佛蘭西ニ於キマシテハ定年ニ達シテモ後任者ノ就
職スル迄ハ、其職務ヲ退メナイト云フヤウナ規定ガ
佛蘭西ニハアルノデアリマス、定年ニ達シマスレバ
退職スルノデアアルケレドモガ、後任者ノ任命マデハ、
任命ノアル迄ハ其職ニ就カシテ置クト云フヤウナ條
文ハ是ハ矢張り雙方ニ適用ガアリマシテ、定年ニ達
シテモマダ仕事ヲヤラシテ置クト云フコトヲ認メレ
バ、後任者ヲ任命シナイ、又唯今加太サンノ仰セノ様
ナ場合ニ於テハモウ其事件ノ終了スルマデハ後任者
ヲ任命セズニ置イテ、其人ヲシテ其事件ヲ終ラセシ
メル、斯ウ云フヤウナ爲ニ佛蘭西デハ後任者ノ就職
スル迄其職務ニ置クト云フ規定ガアルノデアリマ
ス、此七十四條ノ二ト云フモノモ其趣旨ト異ナルコ
トハナイノデアリマス、唯文章ノ書方ニ於キマシテ
期限ヲ延長スル、斯ウ云フコトニシタノデアリマス
カラ正面ノ理由トシテ、所謂精神身體ニ未ダ缺陷、
著シキ缺陷ヲ見ナイ、而モ著シキ此定年以下ノ人ト
較ベマシテ變ル所ナシト認メラレル人々ダケニ、例
外的ニ之ヲ適用スルト云フマア趣意デアアルノデアリ
マス
○加太邦憲君 此適用ハ例外トシテ御實行ナサル
シテモ、固ヨリ其容易クナサルト云フ事デナクシテ、
餘程特別ナル證據デ殆ト是ハ適用ヲセラレヌト云フ
位ノ御積リデアツテ、極ク極クノ例外デ僅ニ斯ウ云フ
コトガ行ハレル、斯ウ云フコトニ解シテ居リマス
ガ、サウ云フ意味デゴザイマス
○政府委員(鈴木喜三郎君) 左様デゴザイマス、萬
民認メテ以テ尙ホ重要ナル職務ニ堪ヘル能力アリト
認識セラレタル場合ニ之ヲ適用スル、決シテ情實
ニ之ヲ適用シテ以テ在職年限ヲ延長スルト云フコト
ハ決シテナイ譯デアリマス
○加太邦憲君 是ハ事務ノ方カラ云ヒマス、極
ク短キ時ハ三箇月ダケ延ビルト云フ位ノコトモア
ル御積リデスカ
○政府委員(鈴木喜三郎君) 左様ノ場合モ或ハ生ジ
ヤウカト思ヒマス
○加太邦憲君 ソレカラモウ一ツ別ナコトデ伺ヒマ
スガ、此今度ノ改正ニ依リマシテ、定年法ガ立チマシ

テ其定年ニ達スレバ、法律デモウ退職ト云フコトニ
ナツテ、サウシテ恩給ヲ取ツテ、文官ノ恩給ニ較ベテ百
分ノ五十餘計貰フ斯ウ云フ次第デ、ソコデ法律ニ
定メテアル定年ニ達スル前ニデス、此定年ニ達スル
時期ガ近クナツテ居ツテ、サウシテ其病氣 之ニ付
テハ横ニ這入リマスガ、本會議ノ時ニ仲小路君ノ質
問デ定年ノ時期ガ近寄ツタナラバ、或ハモウ近ク定年
ニナルノダカラト云フノデ、一向勤メヲシナイヤウ
ナコトニナリハシナイカト云フ意味ノ質問ガアリマ
シテ、確カ政府ハサウ云フコトハ決シテナイト思フ
ト云フ御答デアッタカノヤウニ思ヒマスガ、是マデノ
司法官ノ氣風ヲ見マスルノニ、私モ政府ノ御答ノ通
リ、モウ一二年デ定年ノ時期ニ近寄ルカラ、先キガ短
イ、切々ト勤メテハ詰ラヌカラ、モウ大抵病氣ニシテ
引込デ居ラウト云フヤウナコトハ決シテアルマ
イ、斯ウ私モ信ズルノデアリマスガ、唯本當ノ病氣
デ、ドウモ出勤モ出來ヌ、出勤ドコロデハナイ、ムヅ
カシイ調ベモ出來ナイ、斯ウ云フコトニナツタ時、モ
ウ僅カナ年數ヲ勤メレバ定年法ニ依ツテ特別ノ恩給
ヲ受ケルト云フ、詰リ將來ノ生活上誠ニ都合ノ好イ
コトニナルト云フコトガ眼前ニ見エテ居ル、ソコデ
實際病氣デドウモ退カヌナラヌ、退ケバ普通文官ノ
恩給ヲ賜ハルダケデ、少シモ恩典ニ與カラヌ、是モ定
年ニ近寄ラナイ六十以下ノ人ナドデアラナラバ、モ
ウ定年二十年ホカ無イカラ、是モ恩典モ行ツテヤルト
云フヤウナコトハ固ヨリ論ニナリマセヌガ、六十以
上ニモナツテ、サウシテドウモ病氣デ勤メルト云フコ
トハ出來ズ、退ケバ恩典ニ與カラナイ、サウスルト一
日延バシニ先ヅドウカシテ定年マデ勤メ續ケヤウト
云フ所カラ勤メナイ人ガ居ル、勤メナイ人ガ居レバ
其所ニ代リヲ入レルト云フコトモ定員上出來マセヌ
カラ同僚ノ人ガ迷惑ヲメル、事務ハ澁滞ヲスル、斯ウ
云フコトニナツテ來マス、ソコデセメテ六十歳ヲ越シ
タト云フヤウナ者ニハ、何トカ少シ都合ノ好イ途ヲ
付ケタラ、ソレデ其人ハ退ク、代リハ直グ勤ケル者ガ
出ルト云フヤウナコトニナリハセヌカト、斯ウ思ヒ
マス、又司法省トシマシテハ何十年勤メタ、殊ニ敏
腕且ツ立派ニ一生司法官デ勤メテ來タ人ガ退クト云

フ先キニ至ツテ、サウ云フ場合ニ遭遇シタ時ニ、ドウ
モ氣ノ毒ダケレドモマダ定年ニハ數年ノ間ガアル
シ、實際勤メラレヌ狀況デアルカラ退カヌナラヌ
ト云フ點ガ甚ダムヅカシイコトデ、ドウモ今日デモ
眞面目ニ勤メタ人ガ實際病氣デ居ルノヲ、構成法ノ
七十四條ニ依ツテ退ケルト云フコトガ誠ニムヅカシ
イト同ジク、餘程唯今申シタ如キ點ニ付テ御困難ガ
アリハシナイカト思フノデアリマスガ、何カ其中間
ノ所ニ都合ノ好イ方法ガ無イモノデアリマセウカ、
何カ御攻究ニナツタ點デモアツテ伺ハレ、バ幸ヒデス
○政府委員(鈴木喜三郎君) 御尤モノ御質問デアリ
マシテ、一口ニ申シマスレバ、加太サンノ御質問ハ六
十以上ニ到達シテ、未ダ六十三ニ達シナイ、六十三ニ
ナレバ特別恩給加俸ヲ受ケルケレドモガ、六十一ヤ
六十二デ退ケバ其恩典ニハ浴セラレナイ、サレバト
言ツテ生命旦タニ迫ツタト云フヤウナデアレバ自ラ
退クト云フコトモアラウシ、又七十四條ヲ適用シテ
止メサセルト云フヤウナコトモアルガ、宙ブラリン
ニ於テ困ル、仕事ヲ情ケルト云フヤウナコトモ起リ
ハシナイカ、サレバト言ツテ六十ニ達シテ而カモモ
二三年デ特別恩給ヲ受ケルト云フ者ヲ些細ノ病氣ノ
爲ニ止メサセルト云フコトニ於テモ甚ダ其人ヲ遇ス
ルノ途デモアルマイ、其間ニ何等カノ救済法ハ無カ
ラウカト云フ御趣意ノヤウニ承リマシタガ、是ハ御
尤モノ御質問デ、我々ノ考ニ於キマシテモ、六十歳ニ
達シテ勤續二十年ニ互ツタ者ニハ定年ニ達セズシテ
退職シタ場合ニモ矢張り此自分ノ五十ノ増加恩給ヲ
給スルト云フコトニスレバ、強ヒテ六十三マデ嚙リ
付カウト云フヤウナコトモ起ツテ來マイシ、縱シヤサ
ウ云フ卑屈ノ人間ハ無イニシテモ、司法省トシテハ
二十年モ司法省ニ勤續ヲシテ而カモ六十ノ老齡ニ達
シタ者ヲ僅カ一二年ノ間デ恩遇ヲ與ヘズ退カシムル
ト云フヤウナノモ人ヲ遇スルノ途デナイ、而カモ終
身官ヲ遇スルノ途デナイ、斯ウ云フ考カラシテ、六十
歳以上、勤續二十年以上ト云フヤウナ條件ヲ具備シ
タナラバ、縱令六十三ニ達セズト雖モ、特別優遇ヲシ
テヤリタイモノデアルト云フ考ヲ持ツテ其案ヲコシ
ラヘマシタコトガアル、ケレドモガ是ハ其點ニ付キ

マシテハ幾多ノ機關ニ於テ協議討論ノ結果、兎ニ角
此提案致シタル如ク定マリマシテ、私ガ申上ゲタ
ル事柄ハ此所ニ現ハレナカッタ次第デアルノデアリ
マス
○加太邦憲君 速記ヲ一ツ御訂正ヲ願ヒマスガ、先
刻尾崎仲小路ト呼捨テ、申シタカト思ヒマスガ、尾
崎檢事、仲小路檢事ト御附ケ下サルコトニ御願ヒ致
シマス
○山之内一次君 此前ノ時チヨット御質問ノアッタノ
ニ付テ尙伺ヒタイノデスガ、此七十一條ノ二ヲ設ケ
ラレタ御趣意ニ付テモウ一遍少シ伺ツテ見タイ、此
三條ノ規定ノ適用ニ付テハト云フノデアルカラ、即
チ此所ニアル年限ノ五年或ハ十年ト云フ此年限ノ關
係デアル、然ルニ六十九條並ニ七十條ト云フヤウナ、
五年トカ十年トカ云フヤウナ詰リ專心此裁判ノ經驗
竝ニ此法律上ノ特別研究ヲ行ルト云フ者ニ限ツテ之
ヲ許ス、詰リ其裁判ノ大事ナコトヲ考ヘテ、普通ノ
行政官ト云フモノハ其年限ニ入レナイト云フノガ、
此御趣意ガラウト思フ、此度ノ是ニ依リマスルト、兎
ニ角司法省ノ局長トカ參事官ト云フモノガ外ノ省カ
ラシマスルト法律問題ガ多イト思ヒマスルケレド
モ、矢張り普通ノ行政官デハナイカト思フノデアリ
マスガ、其大事ナ裁判ヲ行ル者デアルト云フ爲ニ今
迄別ニシテアツタ、ソレヲ此度ハソレ程考ヘンデモ宜
シイト云フ意味デアリマセウカ、何カモウ少シ其御
理由ガアルノデアルカ、其點モ一ツ伺ヒタイ、ソレカ
ラ各局長ト云フノガアリマスガ、次官ハ別ニ差支ナ
イノデアリマスガ、次官ハ別ニ差支ナ
ハ司法省ニ書記官ト云フモノハナイカ、又或ハ書記
官ト云フモノガアツテモ、參事官ト餘程事務ノ執リ方
デモ違ツテ居ルノデアルカ、其邊ノ所モチヨット伺ヒ
タイ
○政府委員(鈴木喜三郎君) 實際ノ例ヲ申上ゲマス
レバ、今日マデ司法省ノ高等官ハ皆判檢事出身ノ者
ヲ採用シテ居ルノデゴサイマシテ、將來ト雖モ又サ
ウアラウト思フノデゴザイマス、此條文ヲ入レマシ
タ理由ハ、先般モ申上ゲマシタ通り、實際上判檢事ノ
職ヲ奉ジテ居ル者ヲ司法省ノ高等官ニ採用ヲ致シマ

ス、所デ其人間ヲ又裁判所ノ方ヘ戻シマスルニ付イ
テ、此條文ガゴザイマセスト、モトノ同僚ハ既ニ大審
院ノ判事ニナレル控訴院ノ判事ニナレルト云フニモ
拘ラズ、司法省ヘ入ツタガ爲ニ列後ニ下ツテ尙ホ地方
裁判所ノ判事ヲシテ居ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ
事ニナルノデアリマスルカラ、俊秀ノ者ヲ擢用シテ、
擢ンデテ司法省ニ入レルト云フ事ニ付テ甚ダ障害ヲ
來スノデアリマス、而シテ司法省ノ參事官トナリ局
長トナリ仕事ヲシマスルトシテ、其仕事ハ成程直接
裁判事務ハ執リマセヌケレドモ、民事ニ刑事ニ皆
其事務ヲ或ハ訓令ヲスルトカ、或ハ書類ノ報告ニ依
テソレヲ調査スルトカ、殆ド自ラ裁判事務ハ執ツテハ
居リマセヌケレドモ、裁判事務ヲ執ツテ居ルト同ジ様
ナ仕事ヲ殆ドシテ居ルノデゴザイマス、而モ參事官
ノ如キハ審議立案ヲ司ツテ居リマスノデ、裁判所ニ關
係スル所ノ法規ノ立案ヲシテ居ルノデゴザイマスル
カラ、判決ヲ書クトカ、訟廷ニ立會ツテ審理ヲスルト
云フヤウナ事ダケガ裁判官トハ違ヒマスルケレドモ
ガ、其内容ノ仕事ト云フモノハ判檢事ノ仕事ト擇ブ
所ハナイノデゴザイマス、恰モ帝國大學ノ法科教授
ト云フモノガ尙ホ之ヨリモ縁ノ遠イ人デアリマスル
ケレドモ、法科大學教授ヲ十年スレバ大審院ノ判
事トナリ、五年スレバ控訴院ノ判事トナリ得ル、是ニ
比較ヲトリマシテモ司法省ノ玆ニ列記シテアリマス
ル人トシテ年限ヲ通算セシメルト云フ事柄ハ、實
際上必要デアツテ、又内容實質ニ於キマシテモ現實ニ
判檢事ノ職務ヲ執ツ者ト異ルコトガアリマセスカ
ラ、其意味ニ於キマシテ玆ニ此規定ヲ置イタ次第デ
アルノデゴザイマス、司法省ニ於キマシテ書記官ト
カ事務官トカ云フモノモゴザイマス、ケレドモ、其書
記官事務官等ノ執ルベキ職務ハ局長若クハ參事官ア
タリト違ヒマスルカラ、ソコニ是ヲ省キマシテ、ソレ
カラ次官ヲ是ヘ入レテ置カヌガ、次官ハ矢張り局長
ノ上ニ立ツテ仕事ヲスルノデゴザイマス、仕事ノ
上ニ於キマシテハ敢テ擇ブ所ハナイノデゴザイマス
ケレドモ、次官ヲ入レル必要ハナカラウカ、コレハ事
實上入レタ所ガ、適用ハアルマイカ、ト申シマスルノ
ハ裁判所ノ方カラ直ニ次官ニ採用スルト云フヤウナ

コトガアリマシタ場合ナラバデス、裁判所ニ居ッテ奉
職シタル判檢事ヲ直ニ次官ニ採用スルヤウナ場合
ハ、大抵モウ十年以上裁判所ヘ勤續シテ居ル、是ガ十
五年ヤソコヲ勤續シテ居ルト云フノデアリマス、カ
ラ、實際適用ガナイコトニナルノデゴザイマス、ソレ
カラシテ又下ノ方カラ採用致シマシテ段々歷任シテ
局長ニ昇ッテ然ル後ニ次官ニナルト云フヤウナルコ
トモゴザイマス、サウ云フヤウナ場合ハ局長ノ資
格ヲ見マスレバソレデ實際ノ運用ニハ差支ナイコ
トニナリマスルノデ、此次官ハ實際上入レル必要ガ
ナイ、斯ウ云フ所カラシテ省キマシタ次第アルノ
デゴザイマス

○山之内 一次君 段々御説明デ分リマシタガ、此前
ノ御談デ實際ハ今日ノ參事官トカ局長ト云フヤウ
ナモノハ事實ハ差支ヘヤシナイト云フ御談デアリ
マシタガ、將來ハ或ハ差支ヘルコトガアル御見込デ
アラウト思フ、ソレニシマシテモ今次官ノ御談モア
リマシタガ、局長ナゾハ實際問題トシテ餘リ必要ガ
ナイデハアリマセヌカ、此採用シタ年限カラ申シテ
見マスルト、矢張り之ヲ入レナケレバ次官ダケハ實
際局長ナドヲ經テモウ少シ長ク居ッタ者デアルカラ
事實上ニ適用モナイ譯デアルガ、局長ダケハサウ云
フ譯ニイカスト云フノハ何カ多少ノ年限ハ違ヒマセ
ウケレドモ、事實トシテ餘リ適用ガナイコトデハゴ
ザイマスマイカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 參事官ニ致シマスレバ
先ヅ三四年判檢事ニ在職シタ者ノ俊秀ナ者ヲ司法省
ニ採用スルノデゴザイマス、控訴院ノ判事ニハ
マダナレナイ、ソレカラシテ局長ノ如キ者モ今日迄
ノ實例ニ依リマシテハ、裁判所カラ直ニ採ッテ局長ニ
致シマシタト云フ事例ハ多クハゴザイマセヌ、斯ク
申ス私ガ裁判所長カラ司法省ニ入ッテ局長トナリマ
シタコトガアリマス、例ヘバ八九年裁判所
ノ事務ヲ執ツタ判檢事ガ適當ノ人デアリマス、時
ニヨリマスレバ直ニ局長ニ採ルト云フコトガ起ル、
サウ云フヤウナ時ニ其局長ハ最早大審院ノ判事ニナ
ラウト云ウテモ、再ビ裁判所ニ入ッテ一年控訴院グラ
キデ在職シナケレバ大審院ノ判事或ハ部長ト云フコ

トニナレヌ事ニナリマス、本省ノ局長ヲシタ地位デ
アリマス、ト云フト、大審院ノ平ラ判事ヨリ以上ニ
ナツテ居リマス、少クモ同等デアリマス、ソレガ、
ソレヲ大審院ニ入レルト云フ場合ニナレバ先ヅ大審
院ノ部長、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、トコロ
ガ八年カ九年來ルト、元ノ裁判所ノ履歷ガナイト云
フコトデアレバ直チニ大審院部長ニスルト云フコト
ガ出來ナイト云フコトガ起ッテ來ル、ソレ故ニ玆デ局
長ヲ入レル必要ガアルノデス

○山之内 一次君 高等官七等ニ初ハ
○政府委員(鈴木喜三郎君) チョット聴取レマセヌ
カラ

○山之内 一次君 高等官七等デスト判檢事ノ最初ガ
：：
○政府委員(鈴木喜三郎君) 唯今司法官試補カラシ
テ本官ニナリマスル者ハ七等デアル、辯護士アタリ
カラ採リマスレバ初級ガ四等ノ者ヲ採ツタコトモア
リ、五等ハ等ノ者ヲ採ツタコトモアリマス、司法官試
補カラ本官ニナツタ初任者ハ七等カラ採用シテ居ル
○山之内 一次君 七等カラデアルトシマス、高
等官一等ノ間ニ二年ヅツ掛カルト十年モ經タナケレ
バナラヌコトニナリマス、辯護士カラ採ルト、司法官
試補ヲ經テ採ルト大抵順序ガ同シヤウニ大抵鈞合ヲ
考ヘテ居ラシヤルデハナイカト思フケレドモ、辯護
士カラ來タ者ダケ特別ニ優秀ナ者ダト高等官四等
ニ採用シテ年限ガ足リルヤウナコトニ實際ナツテ居
ルガ、七等トスルト十年經ナケレバ二等ニ爲レナイ
ト云フコトニナル

○政府委員(鈴木喜三郎君) 左様、七等カラトシマ
スルト二年毎ニ昇ラセ得ルト局長マデニ昇リマスル
ニハサウ云フコトニナリマス、ナリマスガ玆ニ局長
ヲ比較スルト云フト、裁判官ヲ四年ナリ五年ナリヤッ
テ、サウシテ官等ハ二年毎ニ歷階ヲシテ行キマス、
參事官デ二年毎ニ昇ッテ行ツテ三等ニ爲ルマデハ約
十年位掛カルカモ知レマセヌガ、部長デ裁判官カラ
直グ局長代理トカ何トカ云フコトニ爲リ得マス、カ
ラ、サウスルト局長ヲ除イテシマフト云フト、是ハ稀
デゴザイマセウケレドモ、隨分實際上ニ困難ヲ來ス

コトガアラウト思フ、事實ニ於キマシテハ局長ニ爲
リマスルノニハ無論十年位……十年デハ殆ト司法部
トシテ進歩ガ遅イ、昇進ガ遅イノデゴザイマスルカ
ラ實際ハ十五年モ掛カッテ居ル、法ノ立テ方ト致シマ
シテ參事官ノミ置クト致シマシテ局長ヲ除ク理由ガ
ゴザイマセヌデ局長モ平均イタシマシタ次第デゴ
ザイマス

○山之内一次君 唯今御話ノ其稀ナ場合、局長代理
トカ云フ場合ハ大抵參事官ナリ何ナリ外ノ官ヲ以テ
ヤルノデ、唯局長代理ト云フノハ官デナイヤウニ思
ヒマスガ、サウデナイデスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 勿論左様デゴザイマス
○山之内一次君 今ノ御話デアルト能ク徹底セヌヤ
ウニ實際思フケレドモ、最低年限ガ二箇年デスカラ
十箇年以上ハ殆ト爲レナイト云フコトハ先ヅ殆ト明
白ノヤウニ思フ、次官デケテ除イテ局長ヲ入レタト
云フ意味ハ何カ……理由ガチヨット發見シナイヤウ
デス

○政府委員(鈴木喜三郎君) ドウモ實際適用案トシ
テハ山之内サンノ仰シナル通りニナリマセウ、例ヘ
バ今後ニ於キマシテハ特別任用ノ判檢事ノ資格ヲ有
ツテ居ル者ガ辯護士アタリ或ハ大學教授ノヤウナ者
ヲ直グ局長ニ採ッテ來ルト云フヤウナコトガ有リ得
ル、是ハ今後ハ有リ得ヤウト思フノデス、サウ致シマ
スルト云フト局長ト云フモノガ無イト云フト、初メ
テ局長ニ任命サレテカラ十年經タナケレバナラス、
五年經タナケレバナラス、斯テ云フ事ニナル、局長ヲ
シテ居ル者ガ控訴院ノ部長ト云フ事ニシテ、ソレハ
實際ハ出來ナイデゴザイマセウ、昨年マデハ控訴院
ノ部長ハ局長ヨリ下デアリマシタガ、今日ハ俸給令
ノ改正ヲ致シマシテ控訴院ノ部長ト局長ト同一ノ俸
給ニナリマシタカラ適用モアリ得ル場合ヲ生ズ
ルコトモアリマスルガ、從來トシテ局長カラ出テ控
訴院部長ニ爲ルト云フコトハナカッタノデス、大審院
ノ方ノ適用ニ於テ困ルト云フコトニナルノデス

○委員長(伯爵松平賴壽君) 山之内サンハモウ御質
問ハナイデスカ 御話デケハ分リマシタノデゴザイ

○山之内一次君 御話デケハ分リマシタノデゴザイ

○男爵池田長康君 私ハ實質上ノ點ニ付キマシテ十
分マダ研究スル間モアリマセヌガ、前ニ大體ノコト
ニ付キマシテハ……内容ノ點ニ付キマシテハ御質問
ヲ致シマシタ、尙ホ其法律上ノ點ニ付キマシテ疑義
ガ多イノデアリマスルガ、既ニ法律上ノ問題デ御答
辯ヲ求メタ次第デアリマスルカラ質問ヲ差控ヘテ實
ハ居リマシテ、唯今御質問ガ一時打切ニナッテ居リマ
スレバ私ノ此法律問題ヲモウ一應御尋シテ置キタイ
ト考ヘマス、最早此質問ノ何モ長ク度ニナリマシ
タモノデスカラ、何レ近イ中ニ此委員會モ閉チラレ
ルダラウト想像イタシマス、ソコデ實ハ討論ニ際シ
マシテ自分ノ意見ノアル所ヲ申出ルノガ順序デアリ
マス、又サウ致シマス積リデ居リマスケレドモ、尙ホ
疑義ノ點ニ付キマシテハモウ一應政府委員ノ御意見
ヲ確メテ置キタイト私ハ考ヘル、ソコデ既ニ御説明
ニナリマシタノデ、モウ十分ダト御考ニナル場合ニ
ハ繰返ヤシテソレハ御答辯ニナル必要ハゴザイマセ
ス、新タナル質問ニ屬シマシテ御答辯ニナラウト云
フ御考ノモノニ付テ御答辯ヲ得テ置キタイト考ヘ
ル、先ツ憲法ニ違反スルヤ否ヤト云フコトニ付タイ
ロイロ法曹界ニ於テ議論ガアルヤウニ考ヘラレマス
ガ、憲法五十八條ノ第一項ニ依リマシテ裁判官ノ資
格ノ點、此點ニ付テ憲法違反ニアラズト云フ説ヲ出
シテ居ル御方ガ往々アルノヲ拜見イタシマス、此説
ハ政府トシテハ、此説ハ矢張り取ル説デナイト云フ
御考ヘデ居ラシヤイマセウカ、是モ一ツ取ルベキ説
ト斯ウ云フ事ニ御考ニナッテ居ラレマスカ、勿論私ハ
是ハ取ルコトハ出來ヌト云フ考ヲ持ッテ居リマスケ
レドモ、其點ハ一應私ハ確メテ置キタイ、是ガ第一デ
ゴザイマス、ソレカラ第二ハ憲法五十條ノ二ノ職ト
書イテアルコトハ官デアルト云フ御説明ガアリマシ
タ、ソレデ尙ホ是ガ混用サレテ居ル材料マデ御提示
ニ與カリマシテ、私共モ之ヲ拜見イタシマシタガ、私
ノ考デハ此職ト書イテアルガ、是ハ詰リ其當時混用
サレテ居ル事實ハ認メマスルガ、詰リ混用サレタノ
ハ官ト職トノ觀念ガマダ定マッテ居ナカッタト云フコ
トデアリマスカラ、茲ニ書イテアル所ノ職ハ官ダト

極メテ仕舞フコトハ如何デアラウカ、官職分別ノ意
味ハナイカモ知レマセヌケレドモ、是ハ官ト極メテ
御シマイニナルノハ如何デアラウカ、私ハ斯ウ云フ
風ナ疑ヲ有ッテ居リマス、寧ロソレヨリハ憲法五十
八條ノ第二項ハ此文理解釋ニ依ラズ、全體ノ精神解
釋ニ依テ、或ハ憲法違反ニ非ズト云フ御説デゴザイ
マスルト、マダ是ハ一ノ議論ニナルダラウト私ハ考
ヘル、併シ政府委員トシテノ御説明ハ此官ハ職ニ非
ズ、官ダト斯ウ御説明ニナルモノデゴザイマスカラ、
ソコデ非常ニ私ハ疑ヲ生ジテ來ル、此點ハ既ニ度々
御聲明ニナッテ居リマスカラ、矢張り其通りデアリマ
スルナラバ御答辯ハ必要モゴザイマセヌガ、ソレカ
ラ第三ニハ構成法ノ第七十三條ト七十四條ト七十五條
トノ關係ニ付キマシテ御説明ガアリマシタノデゴザ
イマスガ、之ニ付キマシテハ政府ノ御答辯モ意ノア
ル所ハ略々了解イタシマシタケレドモ、七十四條ノ
第一ダケデ考ヘマスルト、或ハサウ云フ風ナ政府ノ
御答辯ノヤウナ風ナ解釋モ其處ニ出テ居リマスル
ガ、新ニ出タ法デアリマスルケレドモ、大正二年ノ
構成法ノ七十四條ノ二ト云フモノガ出テ參リマスル
ト、其御説明ガ私ハ通ラヌ様ニ思ヒマスケレドモ、ソ
コデ矢張り其聯絡ノ點ニ付キマシテ私ハ尙疑義ヲ其
處ニ存シテ居ル次第デゴザイマス、ソレカラ第四ニ
ハ檢事ノ場合、檢事ノ場合ニ於キマシテハ構成法ノ
第八十條ニハ保證ノ規定ガ出テ居リマスガ、裁判所
構成法施行條例デゴザイマスガ、二十一條ニ適用ス
ルト云フ事ニナリマシテ、又今度ノ改正案ニ依リマ
スルト云フト、構成法ノ八十條ノ二ト云フ項目ヲ置
イテ、サウシテ之ヲ規定スルト云フ事ニナリマスル
ト、此判事ト檢事トノ法上ニ於ケル、其法ノ大要ト云
フモノガ、甚ダシク整フテハ居ナイ、又ソコデ疑ガ出
來ルノデアリマスガ、此施行條例ノ二十一條ニ規定
シテアリマスルガ、是ハ構成法ニ規定セズニ施行條
例其モノノ中ニ矢張り規定シテ置クト云フ事ハ、矢
張り一向差支ナイモノデアアル、此四ツノ點ニ付キマ
シテ尙ホ私ハ疑義ヲ有シテ居リマスガ、既ニ之ニ付
キマシテハ、御説明モアッタ事デゴザイマスルカラ、
繰返シテノ御説明デゴザイマスレバ、疑問ハ疑問ト

シテ私ハ置イテ行クヨリ外仕方アリマセヌ、尙ホ新ニ御聞キ致シマセヌ點ハ、詰リ憲法第五十八條ノ一項ニ依ッテ説明スルト云フ説ガアルノデアリマスガ、之ニ付テノ御説明ヲ一應チヨット同ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 池田男爵ノ御仰セノ通り、憲法五十八條ノ一項ニ付キマシテ、此定年制ハ矢張り法律ニ定メタル資格ト云フコトニナルノデアリマスカラ、資格ハ法律ニ定メタルコトガ出來ルダニ依テ憲法違反デナイ、斯ウ云フ議論ガアルヤウニ私モ承知シテ居リマス、併シ政府ノ考ヘマシタノハ此五十八條ノ一項ニ依テ以テ定年制ガ違憲デナイトハ申サヌノデゴザイマス、若シ此資格論ヲ貫キマスト、成ルホド定年制ガ出マスルト云フト、六十三六十五定年デ退職ヲサセルト云フコトニナルカラ、自然六十四ノ者ハ新ニ任用スルトコトハ出來ナイ、六十六ノ者ヲ大審院長ニ採用スルト云フコトハ、是ハ出來マセヌ、デアルカラ其點カラ見マスレバ一種ノ資格制限ノヤウニ見ヘマスルケレドモ、此定年制ハ六十三ニ達スレバ退職セシメル、法律ニ依テ退職セシメル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、若シ是ガ其判事檢察タルノ資格ト云フコトニナリマスルト云フト、退職ト云フコトガ教イテ來ナイノデアリマス、六十三ニナレバ退官シナケレバナラス、所謂任官ノ資格デゴザイマスカラ、六十三以後ニ判事ト云フ官職ヲ帶ブル者ガナイ、斯ウ云フコトニナリマスカラ、退職スル譯ガナイノデアリマス、退官ニナル、其處カラ見マシテ此定年制ト云フモノガ五十八條ノ一項ニ觸レナイカラ、違憲デハナイ、斯ウ云フ議論ハアリマスルケレドモ、政府ハサウハ考ヘテ居ラスト云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ第二項ニ付キマシテ免職ト云フノガ即チ免官デアル、單ニ職ノミヲ免ズル場合ニ於テハ此中ニ含マヌ、斯ウ云フ事柄ハ單ニ私ハ文字論ニ拘泥シテノミ申シタノデハゴザイマセヌ、御手許ヘ差上ゲマシタ文官懲戒令ニ依テモ、當時ニ於テハ免職ト云フノハ即チ免官デアル、云フコトハ先ニ申上ゲタノデアリマス、憲法ノ點カラ考ヘマシテ五十八條ノ二項ノ免職ト云フノハ、所謂官職併

セテ免ズル場合デアッテ、單ニ職ノミヲ退ゴカシメル場合ニ於テハ二項ニ這入ラスト云フ事柄ハ、過般モ申上ゲマシタル通り、樞密院ガ構成法ヲ議スルニ當ッテ其理由ヲ明カニ付シテ居ルノデゴザイマス、ノミナラズ先ニモ是モ申上ゲマシタガ伊藤公爵ノ著ハサレタ憲法義解ニ於キマシテモ、老體ノ事柄ハ法律ヲ以テ定ムルコトガ出來ルト云フ事ガ其説明中ニ示シテ居ル、其點カラシテ蓋シ構成法七十四條ト云フモノガ生レテ來タモノデアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、即チ退職官ヲ止メテ職ヲ退カシメルト云フ事柄ガ、憲法違反デアルト前提ヲスルナラバ、構成法七十四條ト云フモノハ到底生レ來ベキモノデナイト私ハ考ヘテ居ル、官ヲ存シテ職ヲ退カシメルト云フコトハ即チ老體ノ事柄ハ憲法違反デナイ、官ヲ保證シテ居ルノデアアル、サウシテ又憲法ト雖モ精神身體ノ衰弱ニ依テ職務ヲ執ルコトガ出來ナイ者モ保證スルト云フ精神ハ勿論アラウ筈ガナシ、憲法ノ精神茲ニアルガ故ニ構成法七十四條ヲ產ミ出シタノデアアル、其構成法七十四條ハ唯精神ヲ要スル此定年法ナルガ故ニ、是レ亦違憲デナイト云フ、斯ウ云フ解釋ヲ取ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ裁判所構成法七十三條以下七十四條七十五條ニモ亦聯絡ガ付イテ未ダ疑ヲ解ケヌ、斯ウ云フ仰セデゴザイマスガ、前回ニモ私ガ申上ゲマシタル通り、七十三條以下七十五條ニ至ルマデ、元來裁判官ト云フモノハ終身官トシテ置ク、其職ヲ退キ、其官ヲ轉ジ、其任所ヲ變ヘルト云フヤウナ事柄ハ無斷ニナスベキモノデナイ、サウ云フヤウナ色ノコトヲスルト云フ事ハ、七十三條以下ニ規定シテ置クゾト云フコトニ過ギナイノデアリマシテ、七十三條ニ列記シテ居ル五ツノ事柄ハ悉ク七十四條以下ニ這入ッテナイ、七十三條ニ書イテナイコトハ七十四條ニ書イテナイマスカラ要スルニ七十三條ハ七十四條七十五條ニ依ッテ斯ウ云フ處分ガ出來ル、又懲戒令ニ依ッテ或ル處分ヲ受ケル、刑法ノ宣告ニ依ッテ或ル處分ヲ受ケル、其外ハ一切職務ヲ退カシムルコトガ出來スト云フコトヲ本條ニ規定シタモノト思ヒマス、七十三條乃至七十五條ノ規定ト云フモノハ決シテ牴觸、矛盾、扞格シテ居ルト云

フヤウニモ考ヘテ居ラヌノデアリマス、ソレカラ其次ハ檢事ニ付テノ施行法ノ問題デアリマスガ、是ハ沿革ヲ申述ベマスガ、元來司法省トシテ提案イタシマシタ構成法ニ依リマスルト、判事ト檢事ト同ジモノヲ書イテ出シタ草案ガ出來タノデアリマス、ソレヲ段々議ヲ經マシテ兎ニ角憲法ニ於テ明文ノアルノハ判事ノ方ニ明文ガアルノダカラ是ハ精神ガ同ジナモノデアアルトシテ判事ヲ書イタラ宜カラウ、ソレヲ準用スル適用スルト云フ風ニ書イタラ宜カラウト云フ斯ウ云フ議ニ基キマシテ構成法ノ方カラ或ル條分ヲ除イテ仕舞ッタト云フノデ、構成法施行條例二十一條ニハ當然現ハレヌデ後カラク付ケタト云フ形ニナッテ居リマス、沿革カラ申シマスレバ判檢事同ジモノガ草案ニ一時出來マシタ、ソレヲ樞密院ノ議デゴザイマスルカ最後ノ決定議デゴザイマシタガ檢事ダケハ別ニ八十條ダケヲ置イテ七十條ノヤウナモノハ脱ケテ仕舞ッタト云フ斯ウ云フ歴史ヲ持ッテ居リマス、ソレデアリマスカラ私一個ノ立法論カラ申シマスレバ、矢張り施行條例ニ置クベキモノデナクシテ構成法ノ本法ニ組込ダ方ガ適當カト考ヘマス、立法ノ沿革ハサウ云フヤウナ次第ニナッテ居リマス

○男爵池田長康君 私人唯今質問イタシマシタコトニ對シテ御説明下サレタノデアリマスガ、其中矢張り見解ノ相違ノ點モアリマスカラ最早見解ノ相違トホカ認ムル外アリマセヌ、私ノ法律問題ニ關スル質問ハ是デ済ミマシタ次第デアリマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 尙ホ御參考マデニ此本案ヲ樞密院ニ於キマシテ審議イタシマシタトキノ樞密院ノ認メタル理由ノ一節ヲ御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思フノデゴザイマス、樞密院ガ此定年法ニ對シテ懷キマシタ意見ハ、斯様ナ次第デアリマス、略シテ申シマスレバ判事檢察ノ位置ノ獨立ヲ確保シテ嚴正ニ司直ノコトニ當ラシムルト云フ事柄ハ憲法並ニ構成法ノ趣意デ、然ルニ判事檢察ハ斯ノ如キ年限ノ保障ガアルカラシテ年齡ガ老ヘテ年ヲ取ッテ裁判檢察ノ實務ニ適セナイヤウニナッタ後尙ホ其職ニ止マルモノガアル、其結果動モスレバ事務ニ滯滞ヲ來シテ成績ガ良好デナイ、且後輩ノ進路擁塞シテ部

下ノ氣風ヲ沈衰セシムルノ病患ガアル、ソレダカラ
今日ニ於テ判檢事ノ定年制ヲ定メテ一定ノ年齡ニ達
シタナラバ退職セシムルト云フ事柄ハ是ハ避クベカ
ラザル處置デアツテ、司法行政及ビ司法事務ノ刷新改
善ヲ圖ル爲メニハ必要ナル處置ト考ヘル、時ニ從ッテ
疏通ノ途ヲ講ズルヲ以テ分限ノ保障ニ起因スル制度
ノ病弊ヲ救フト云フコトカラ是ハ已ムヲ得ザル措
置デアツテ、大體此案ニ向ッテハ略ボ認ムルノ外ナイ
ノデアアル、斯ウ云フ意見ハ樞密院ニ於テ此案ヲ議シ
タル所ノ大要ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ御參考
マデニ附加ヘテ申シマス

○委員長(伯爵松平賴壽君) モウ十二時五分前デア
リマスシ御質問モナイヤウニ存ジマスルガ、質問ハ
是デ打切リマシテハ如何デゴザイマス、一應御相談
イタシテ置キマス

○男爵島津久賢君 一應今日御打切リニナリマシ
テ、議事ニ移ッテカラ更ニ御尋ネシタイコトガアリマ
シタトキハ特別、政府委員ニ御出席ヲ願ッテ御説ヲ伺
フコトガ出來マセウカ

○委員長(伯爵松平賴壽君) ソレハ無論政府委員ノ
出席ヲ求メテ質問スルコトハ宜カラウト思ヒマス、
ソレデハ今日ハ是デ委員會ヲ閉ヂマス、改メテ後ノ
日ハ相談ヲ致シテ御通知申シマス
午前十一時五十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵松平 賴壽君
副委員長 荒川 義太郎君
委員

子爵板倉 勝憲君
男爵島津 久賢君
男爵池田 長康君
加太 邦憲君
山之内 一次君
湯淺 倉平君

政府委員

司法次官 鈴木 喜三郎君
司法省民事局長 山田 確三郎君

大正十年三月六日印刷

大正十年三月七日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局